

りましては、安全性の確保を第一に流動性の確保、有利性の確保を原則にして、一括にして、主に定期預金での運用を行っております。

先ほども言われたように金利がある世の中になりまして、その利息収入というのも年々増えてきておるところでございます。今後の基金の運用につきましては、市長答弁のとおり、将来の財政需要や資金収支を踏まえながら、中東情勢など不安定な要素もございますけれども、引き続き情報収集に努めまして、慎重かつ多角的な視点から検討を行い、安全性、流動性を十分確保した上で、効率的な基金の運用に努めたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

加藤議員。

○3番（加藤康太郎君）

本当、武蔵野市の場合は、本当に運用の、今おっしゃった原則維持とか、ガバナンスの強化含めて仕組みと条例とそういったものがしっかりすることによって、令和4年は利回り0.025だったのが、令和8年には0.852まで上がってるんですよ。これ基金も多分90億ぐらいあると思うんで、その差額を見てもらえれば、あると思う。実際それぐらいの運用実績が出せるというところで、今後、検討をしっかりとさせていただきたいと思います。

あと、北見市も今、財政が大変厳しい中なんですけど、大和総研の方がですね、ふるさと納税いっぱい集まるので、お金を集めて喜ぶ段階を早く乗り越え、技術産業の転換のフックとすべきだということと、ふるさと納税をてこに自ら稼げる産業を育てることが大事だ。そして、市長におかれましてはですね、目先のコストの削減ばかりではなく、広いビジョンで未来像を描くことが必要ということで、市長の長期的な視点に基づく運営を求めておりましたので、ぜひそういった観点でしっかりと進めていただければと思います。

以上で一般質問を終わります。

○副議長（保坂 悟君）

以上で、加藤議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩いたします。

休憩を2時30分までといたします。

〈午後2時18分 休憩〉

〈午後2時30分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。〔15番 田原 実君登壇〕

○15番（田原 実君）

創生クラブ所属、田原 実です。

提出した報告書に基づき、以下質問させていただきます。

質問1、被災者住民の声は、コンテナ要らない、コンビニ欲しい。駅北遊び広場整備計画の現状と課題について。

駅北遊び広場整備について、令和8年第1回市議会定例会、予算審査特別委員会委員長の報告において、「本事業は多額の公費を投じて整備するものであるが、答弁を踏まえても施設の内容や機能が十分整理されていると言えない状況であり、現時点における事業の進め方には課題があると言わざるを得ない。また、本施設の整備は子育て環境の充実のみならず、まちのにぎわいや交流の創出など、まちづくりにも大きな影響を与える事業であることから、その効果や将来的な位置づけについても求められている。ついては、現在想定されている整備内容ありきで事業を進めるのではなく、市民ニーズを十分に把握した上で施設の目的や整備内容、整備後のまちへの効果や影響についても改めて検討を深めるとともに、事業の方向性を十分整理することが肝要である。市民に対して説明責任を果たしながら、多くの方から愛され、必要とされる施設となるよう事業を推進することを強く求める。」と報告されました。以上が、予算審査特別委員会での集約であり、議会の総意です。このことを踏まえ、以下質問します。

- (1) 市民ニーズを十分に把握したか。子育て施設であることへの固執と、事業の目的が補助金獲得となっていないか伺います。
- (2) 解体工事や土地利用について近隣と十分に話し合ったか、関係は良好か、境界の仕切りと仕様など、合意形成できているか伺います。
- (3) 被災者住民、市民に対する説明と責任は確かなものか伺います。
- (4) 計画敷地周辺へのこれまでの投資額は幾らか。それに見合った施設整備か、整備目的と整備後のまちのにぎわいへの効果や影響を伺います。
- (5) 既存施設キターレの8年前の広場・コンテナ案と、キターレ計画・建設における反省点について伺います。
- (6) コンテナ要らない、コンビニ欲しいなどの被災者住民の要望・意見の反映について伺います。
- (7) コンテナ設置が「糸魚川市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」や、建築基準法等法令に合致したものになっていますか伺います。
- (8) 市長公約の対話で進めるまちづくりと、納得解を生み出す場の形成について、最近普及してきたAI技術等を活用した市民の参画について伺います。
- (9) 駅北遊び広場整備が汎用性のある空間というような漠然としたものでなく、市長公約の縮充のまちづくりの中で、市民のためのよりよい計画となるための取組について伺います。
- (10) 近隣住民、市民に感謝される運営が展開される公共施設整備という観点から、駅北遊び広場整備計画をいま一度検討し直していただきたい。

会派創生クラブは6月3日に本町まちづくり講演会として、塩尻市の北部交流施設「えんてらす」の計画と運営、公共施設に人を呼び込む工夫、市民サービスの在り方について学ぶ

機会を設けました。その中で出されたキーワードは、①日常性、②波及性、③継続性、④日常と非日常の融和でした。3人で始めたマルシェ、運営者が企画したイベントが人を招き、にぎわいをつかった利用者と運営者の関係づくり、地域との関係づくり、など糸魚川市に必要な実践を学びました。担当課に資料をお渡ししました。参考にして、近隣住民、市民に感謝される施設をつくり、運営してください。市長のお考えを伺います。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

田原 実議員のご質問にお答えいたします。

1点目の市民ニーズと事業目的につきましては、本事業は大火からの復興として、市民ニーズを把握しながら長年にわたり検討され、駅北まちづくり会議、駅北まちづくり戦略を経て計画し、国とも協議する中で進めてきたものであります。

2点目の近隣者との関係につきましては、解体工事や土地利用について必要に応じて説明を行ってまいりました。

境界柵等は、今後の設計の中で協議・確認し、良好な関係の構築に努めてまいります。

3点目の市民説明につきましては、今後も設計の進捗に応じて、施設の目的、使い方、管理運営の考え方などをお示しし、丁寧に説明してまいります。

4点目の投資額につきましては、用地取得等が約8,700万円、既存建物の解体費が約2億4,400万円、合計で約3億3,100万円であります。

本計画地は、駅北大火からの復興まちづくりの中で公共的活用を検討してきたものであり、このたびの整備により、子供や親子をはじめ多くの世代の日常的な利用を通じて、駅北エリアの回遊、交流、にぎわいにつなげてまいります。整備後は利用状況等を把握し、事業効果を検証してまいります。

5点目のキターレにおける過去の反省につきましては、その都度、市民や関係者と丁寧な情報共有を図り、運営してまいりました。

6点目の被災者住民の要望・意見等の反映につきましては、コンテナは、その設置自体が目的ではなく、休憩、展示、学び、地域資源を生かした企画などを柔軟に受け止める空間として検討しているものであります。

また、コンビニエンスストアについては、行政が直接設置・運営することは想定しておりませんが、広場が日常的に人の訪れる場となることで、周辺の民間活動のきっかけとなることを期待しております。

7点目の関係法令につきましては、建築基準法をはじめとする関係法令を遵守し、必要な手続きを行いながら整備を進めてまいります。

また、市の木材利用方針の趣旨を踏まえ、木造・木質化や地場産材の活用を検討し、温かみのある公共空間となるよう努めてまいります。

8点目のAI技術の活用につきましては、アンケートや自由意見の整理、意見の傾向分析、資料

作成などで利用しております。個人情報取扱いや正確性に留意しながら、市民の声を把握・整理する補助的な手段として活用を検討してまいります。

9点目のよりよい計画となるための取組につきましては、整備内容の見える化が上げられます。

「汎用性のある空間」との表現だけでは具体的な使い方が伝わりにくい面もありますので、今後は、設計図面やイメージ図、利用場面、運営体制、関係団体との連携内容などを示し、具体化してまいります。

また、施設規模を抑えつつ、子育て支援、交流、回遊などの機能を高める公共空間として、整備してまいります。

10点目の広場計画の見直しにつきましては、駅北大火からの復興まちづくりの流れの中で、この計画を進めてきたものであり、大規模な施設から汎用性のある広場へと転換しましたが、駅北まちづくり戦略における、複数分散型、子育て支援を中心とした機能の方向性は維持しております。

ご提案の「えんてらす」の運営も参考に、多くの市民が参画し、利用いただける施設となるよう整備を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

市長からご答弁いただきました。ありがとうございました。

それで通告書の（1）子育て施設であることへの固執と事業の目的が、補助金獲得となっていないかのところをお答えいただいております。お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

子育て施設であることへの固執ということでございますが、こちらにつきましては市長答弁の中にございましたように、駅北まちづくり戦略の中におきまして、こちらの施設につきましては子育て支援を中心とした機能というふうに取り決めておりまして、そちらを踏まえてということでございます。

また、事業の目的が補助金獲得となっていないかということでございますが、こちらのもともとの計画、当初の時点から、国からの有利な補助金といったところは、念頭にある中で進められてきた事業というふうに理解しておりますので、そのように対応させていただいてるというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

再質問は、通告書（10）からお願いします。

塩尻市の「えんてらす」の運営計画で、成果を出すバックキャスティングのフレームワークの重要性についてどのようにお考えか、市長に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

「えんてらす」につきまして、私も事前学習と当日の「えんてらす」の運営のなされてる方のお話、そしてその後の、また「えんてらす」に関する情報収集に努めておりました。今議員おっしゃるとおり、バックキャスティングの方式によって「えんてらす」が非常に長い年月をかけて建設までの経緯をたどっている。その中において、建築の構想等の中にそれらを盛り込んであったということでございます。その部分で、やっぱり私自身が駅北の全体像をつくる上で、広場というものが一つのツールになると思っていたんですけども、駅北全体を通して、このバックキャスティングの方法で将来を見据えた駅北まちづくりの中に、一つ一つの誘導をしなければいけないもの、あるべきもの、そういうものを取りそろえながら、その先にある駅北づくりというものに考えなきやいけないという中において、今回、大規模な施設計画から広場計画への移行をしたということでございます。やはりキャスティングの中では、日常性とか波及性、継続性、そして日常と非日常がきちっと分離して、双方がうまく活用できるようにしてあるというような中身も含めて、私自身は、ここにトレースしたような形の広場づくりというものに考えをいたしているという、現状はそういう形で考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

市長おっしゃるとおりで、縮充における公共施設建設のフレームワークと私は捉えています。ならば、駅北遊び広場の運営計画をどうお考えか、いま一度、市長に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

運営計画におきましては、オペレーションという観点でよろしいでしょうか。オペレーションということになると運営という部分で、誰がそこに主体的に関わってくるのかという部分で、基本的には我々が今持っている手持ちの、そこに運営してくる人たちをそこに当てたいということでございます。市が中心となって運営をしていくという形になろうかと思います。

また、長期的な視点から見ますと、これからいろんな民間への、保育所とかそういうものが民間

への移譲を進めていくわけでございますので、その中でやっぱり人材というものが、そこに関わっている人材が、そういうふうな、他のところに回せるということも、これからは含んでいかなきゃいけないという部分も考えます。

ただ現時点では、新たな委託費を投じてやるのではなくて、今ある人材の活用をして、実施をしていきたいということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

今、民間のどこまで行ってしまったんですけど、私やっぱり直営でといったところを「えんてらす」から学んだもんですから、そのフレームワークを確認したということでございます。

通告書の（9）です。施設を縮充しつつ、市民が望むサービスを提供できるのか問われています。市長が思い描くイメージ図が出されただけで、市民理解や議会承認が不十分なまま設計業務を委託するという糸魚川市のパターンが繰り返されています。駅北広場キターレのような問題が、また起きるのではと懸念するところです。

行政の都合だけを優先するのではなく、市民のためのよい計画となるフレームワークへと直してください。変更が前提のイメージ図ではなく、まず、基本計画をまとめましょう。市民の声を聞いて、運営計画に反映させましょう。基本設計、実施設計とステップを踏んで、確かな工事費を定めて着工してください。市長に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

基本的には、私の思いを遂げていくのが担当課が今業務をしてるわけでございますので、担当課が、ほぼその大役を担っているということでございます。仰せのとおり、いわゆる基本的な部分からスタートしていった、基本設計、そして実施設計とステップを踏んで、確かな工事費というものをきちっとお示ししながら進むというのは、これは必要なことだと思っています。現時点で、その部分において担当課が作っている資料を基に進めているということで、それらについては、私自身が若干ながら目を通しながら進めています。

ただ、今問題なのは、このスケジュール感の問題が出てきております。スケジュールが非常に詰まっている。解体がずっと不調に終わって、スタート時点が遅れて、そしていわゆる最終的なものが詰まっている段階でスケジュールが詰まってきたということ、非常にその辺のところが苦慮する部分だと私自身感じております。ただ、苦慮すると言ってでも、やっぱりその手順をしっかりと圧縮してやらなければいけない。手順を抜いてはいけないということは感じておりますので、その圧縮した中の手順の踏み方、また、市民理解の法策は、改めて検討をしている最中でございますので、そういう部分でご理解をいただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

本末転倒とならないようなフレームワークへのこだわりということで質問をしております。

それで、市が作った汎用的な遊び広場イメージ図を見た建築に明るい方、複数の市民からは、コンテナを置いてものにぎわいはできないとご意見いただきました。A Iは、このイメージ図をイベントのためのプランと読み取りました。ただ、コンテナでどんなイベントをするのか、誰に向けてのものなのか、幾らかかるのか、どんな成果があるのか、いつまでイベントを続けるのか聞かれましたが、私も分かりません。

コンテナ、何の役に立ちますか。職員の皆さんはどうですか。市民からは大きな予算でこの広場を整備するそもそものところがよく分からないと言われました。利用者や目標値をちゃんと想定して計画してるかと聞かれましたが、私も分かりません。市長は、取りあえずこのイメージ図でと言われますが、取りあえず何も、市長が何をしたいのか分からないのです。市民も何も分からないまま、拙速に工事発注の準備だけを進めていいのでしょうか。立ち止まってみませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

田原議員のほうからは、3月の予算委員会においても、コンテナに関する懸念のご意見をいただいていると思っております。

先ほど市長答弁にもございましたように、私どものほうでもコンテナの設置に必ずしもこだわっているというものではございませんで、空間として柔軟に、多目的に対応できる空間としてご提案をさせていただいてるものでございまして、今後、皆様方からいただくご意見も踏まえながら、コンテナ部分の造りについても、再度検討はさせていただきたいと思っておりますのでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

キターレのときのような軽率なことを繰り返さない。それには、庁内体制をしっかりとということです。

今回の一般質問において、遊び広場整備における各議員との質問と答弁を聞いて思うのは、この広場整備は、まちの再生、中心市街地の活性化であることを考えれば、教育委員会だけの事業ではないということです。遊び広場整備に当たっての現在の庁内推進体制がどうなっているかです。もし推進体制がなければ、早急に体制を構築する考えがあるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

こちらの施設につきましては、子育て支援を中心とした機能といったところがメインとなってきたというところでございまして、これまでずっとこども課、今年度からはこども家庭課ということで、私どもの課が主となってまいりました。

これによりまして、駅北にこれまでなかった子育て世代を含む人の人流を巻き込むといったところの中で、駅北全体のにぎわいにつなげていければというところで想定はさせていただいておりますので、施設整備自体につきましては当課で実施をしておりますが、その後の利活用については庁内全体で考えていくべきところというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

通告書の8です。ネットを使って市民アンケートを取るべきとの市民の声があります。市民とのキャッチボールからエビデンスを得て、市民の納得解としていくことが縮充じゃないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

市民からの意見聴取ということでございますが、昨年、久保田市長になられてから、市長と市民の懇談といったところも含めて、この広場案といったところもお示しさせていただきました。そういった中でも、いただいたご意見等を踏まえて、今後の対応というところで進めさせていただいております。また今後も、今年度、設計等の作業を進めていく中では、市民の皆さんのご意見を聞く場といったところは設けていきたいというふうに思っているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

慎重に、丁寧に対話を進めてください。ネットを使って市民アンケートから始めてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

インターネットを使った市民アンケートというところなんですけれども、なかなかそういった個人の特定だったり、ご意見自体の集約といったところで、インターネットというところの秘匿性といえますか、そういったところの懸念もございますので、できましたら市民の意見交換といったところの中でご意見をいただく中で、また当課、直接ご意見いただいても結構ですし、そのような形では進めていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

駅北子育て支援複合施設のＤＢＯを見直して、中止したのは市長です。私は賛成でしたが、議会からも市民からも唐突だと言われました。でも市長がそうした理由は、いま一度、市民との丁寧な対話で市民ニーズを十分に把握して、市民が納得する新しいプランをつくる時間が必要だからだと私は思っていました、そうではなかったですね。いきなり出された案のコンテナとか災害トイレカーって一体何なんですかと、がっかりしている市民がいます。この辺り、慎重に市民の声を聞く対話がないと、必ず問題になります。慎重に丁寧に対話を進めてください。そして、ネットで市民アンケートを始めてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、対話ということではありますが、私自身、昨年から13地区は当然なんですけれども、ありとあらゆる会合の出席につきましては、私は欠席することなく非常に多くの会合、まちづくりネットワークだとか商工会議所等々も全部含めて、ほぼ全出席をさせていただきました。それぞれの会議体については、その会議の趣旨がございますので、駅北遊び広場について、それを特段取り上げて対話をするわけではございませんけれども、やっぱり私の考え方とかまちづくりについて、ある意味そういう会議体等を通じて意見は聞きながら、かつ、また市民の皆さんとの対話の中で聞いてきたという経緯は理解はしていただきたいと思います。全く対話がないまま進めているという部分については、私自身はそう考えておりません。

そして、今ご提案のありました、やっぱり市民の声の聞き方ではありますが、先ほど私、一つ一つの計画は抜くわけにはいきませんが、圧縮する必要があるということでお答えをさせていただきました。実施計画だとかそういうものは抜いちゃいけない。ただ、その期間を圧縮する部分は考えなきゃいけないという部分で、できるだけ取り入れるだけのものは準備をしていきたいと思えます。ＡＩを使ったものについてとか、またそのＡＩで作成してきたものを我々が手に入れて、どこかでそれらを披露していくとかという部分は、考える余地はあろうかと思います。そういう部分の対話の仕方、聞き方というのは工夫をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

まあね、何でアンケートをやらないのかという理由を私、聞きたいですね。市長がいろんなところに出て、ご自身の話をした。それは、私よく見て分かってますけど、今この計画については、市長が何をやりたいか分からないという声大きいから、であるならば、皆さんからアンケートを取ってみる。そのことが大事ではないかと。これはですね、市長の公約、縮充の表れとして市長の信頼につながることです。明日からでも準備して、アンケートを始めてください。

○議長（古畑浩一君）

田原議員にちょっと申し上げますが、発言の終わりはさ、質問の形を取っていただきたい。じゃないと、どなたが答えていいものか悪いものか、行政のほうがちよっと考えてしまいますんで、質問の最後は、と思いますが、いかがでしょうかとか、と思いますが、お答えくださいとかという形で、お願いをいたしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

議長、ご指導ありがとうございます。

アンケートを実施してくださいと私は思っております。伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

繰り返しの答弁になる部分がございますが、この点だけを基にアンケートを取るという予定は今のところ考えておりません。

ただ、今後も想定されます市民説明会、そういった中で先ほど市長も答弁されましたような形で、対話も含めた中での意見の聴取といったところについては努めていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

残念ですね。市長の信頼につながるって私言ってるのに、やる気ないってね、いかなあものでしょうか。

子育て施設への固執と補助金獲得について改めて伺います。

市長が次のフェーズにあるという一方で、担当課は、子育てありきのまま国の補助金獲得を目的

化しているように感じますが、いかがですか、いま一度お答えください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほども答弁申し上げましたけれども、今回の施設整備に関しましては、かなりの金額がかかります。そうした中では、やはり国から有利な補助が頂けるといったところは、非常に財政的に大きいものと捉えておりますので、そういったところも踏まえる中では、市民意見も当然お聞きした中で、反映できるところは反映してまいりたいとは思っておりますが、財政的な部分といったところも重要視しなければならないところというふうに捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

国からの補助金を使えることは、市民の負担を軽減しますが、ただ、市民ニーズを聞くことを忘れて工事発注の段取りをしてるように思えてなりません。

先ほど申し上げたように、基本計画がまだまとまっていないのに、なぜそこを飛び越して基本設計、実施設計にかかるんですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

この事業につきましては、大火からずっと検討を続けられてきた事業でございまして、以前の複合施設の計画、この中で当初の目的、そういったところは作り込まれた中で、DBOでの発注ということでかけさせてきました。ただ昨年、久保田市長に替わられたというところで、そのDBOでの複合施設の建設を取りやめ、汎用的な広場といった形で方針転換をさせていただいたところがあります。

そうした中で、非常にこのタイトなスケジュールの中で、施設整備の内容変更といったところも踏まえながら今進めさせていただいております。基本設計、基本計画といった考え方につきましては、前の複合施設の計画を踏襲していると思っておりますし、基本設計といったところにつきましても、昨年度、7年度の既決予算の中で部分的に執行させていただきまして、これは所管の常任委員会等にも報告させていただきながらさせていただいたところではありますが、それを基に、この3月の予算委員会で整備費4億5,000万円といったようなところの金額的なものも算出させていただきました。それを踏まえて、今年度、詳細な設計に入っていきたいというところで進めさせていただきたいというものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

設計業務委託についてどのようなものか、議会に報告はありませんね、大丈夫ですか。遊び広場の設計契約日、委託先、委託業務の内容の詳細、確認申請について伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今年度、委託をいたします設計業務につきましては、先日、事業者のほうが決まりました。今後そちらの事業者と、詳細について協議をしながら進めさせていただきたいと思っておりますので、今ほどの詳細の部分については、今、私、この場ではお答えできません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

答えられない理由は。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

議員おっしゃられました確認申請等につきましては、そういった法的な基準等につきましては当然クリアしていかなければならないというふうには思っておりますが、こういった形でといったところにつきましては、今後、事業者のほうと詳細については協議をさせていただきながら進めさせていただきます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

質問に教えてください。

担当課は、実施設計にかかりますとか議会や住民説明会で話されますが、誤解を生む言い方ですね。訂正してください。

基本設計と実施設計、それぞれの目的があります。委託業者から受け取る成果品も違います。なぜそうなのか、市長は分かっていますか。お分かりなら説明願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

大まかな考え方で、基本設計というところにつきましては、事業の荒々を固めまして概算で費用を算出するところと思っております。実施設計につきましては、その基本設計に基づきまして詳細な設計に入り、具体的に金額を固めていくといったところだと思っております。

今年度、今先ほど申し上げました事業者のほうに設計委託業務ということで進めさせていただきますが、今後の流れといたしましては、業者のほうと協議をしながら、内容のほうについては、市民の意見交換みたいなものも踏まえながら、9月議会をめぐり詳細な部分について大枠を固めさせていただきまして、その後、議会のほうからご承認をいただいた中で、9月以降、詳細な設計に入っていきたいというふうに、今のところスケジュールとしては想定させていただいているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

概算工事費と入札用の工事予定額、どのタイミングで受け取るか、お分かりですか。コンテナの耐用年数や廃棄について、リサイクルへの対応を設計でチェックできるようになっていますか。コンテナの再利用の経費はいずれ大きな負担となってきますよ。今分かれば教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

今、ご質問の部分については、お答えできませんけれども、先ほど来、申し上げておりますように、コンテナというところにつきましては、再検討させていただきたいということで申し上げております。

今後、コンテナを使うかどうかといったところの段で、最終的にコンテナを使うといったところになりました際には、今ほど議員指摘の部分しっかりと捉えながら、留意して進めていきたいとは思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

検討して、またコンテナやりたいという話になるということはよく分かりました。

通告書の（２）と（３）です。解体工事が何度も入札が不調となり、解体時期を遅らせ、その間に解体工事費が倍増しました。結果、近隣にご迷惑をかけましたが、その原因は糸魚川市です。近隣との関係は果たして良好ですか。

住民説明会で将来計画に触れていましたが、大丈夫ですか。解体工事の遅れで近隣の将来計画が狂ったとしても連携していけるとお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

隣接ビルの所有者の方とは、解体が進まない中でも随時、折を見てご説明等もさせていただきました。そういったお話をさせていただく中では、特段関係が悪化しているというふうには認識はしておりません。

また、今解体工事のほう、隣接ビルのほうも私どもの工事とほぼ同時並行で進んでおりますので、随時そういったところのお話はさせていただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

今回の質問は、行政の説明と責任について伺っております。5月20日の大町観音堂での被災地区住民説明会、6月11日の市民会館での市民説明会、参加者と人数、どのような質問と意見が出て、答弁はどうであったか詳細に説明願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

まず、5月20日の説明会でございますが、こちらは地元区の主催で、そちらに市のほうをお呼びいただきまして、ご説明をさせていただいたところでございます。

内容といたしましては、基本的に、まず、いただいたご意見としては、建物などについて臨機応変に位置を変えたりできるというような考え方はいいんじゃないかというようなご意見もいただきました。これまでの複合施設ではなくて、将来にわたって大きな建物を整備するのではなくて、汎用性のある広場といったところではいいんじゃないかというご意見を、まずいただいたかというふうに思っております。

あと、いただいたご意見といたしましては、今ほど田原議員からもご質問ございました、近隣の民地の活用がどのようになるかといったところのご質問がございました。その中では、私のほうからは、今のところそういった計画はないんですが、将来にわたってそういったところとも連携でき

る可能性として、今、市としては汎用性のある広場ということで整備をさせていただいてるということで、答弁させていただいたと思っております。

それと、トイレの位置についてですね、懸念をする声をいただいているところでございます。あとは、ペットとかの利用ですね。公園内へのペットの利用、そういったところについてのご意見ですとか、あと、アスベスト工事についての、解体工事に当たってのアスベストの粉じんの飛散、そういったところのご心配、それと振動・騒音系についてはどういった機能があるのかといったところのご質問をいただいたというふうに思っております。

それと6月11日の市民説明会、こちらにつきましては、市のこども家庭課のほうで実施をさせていただいたところでございます。20人ほどの市民の方のご参加でございました。

いただいたご意見といたしましては、事業費が幾らなのかといったところと、あと、やっぱり夏は暑くて冬は雪が降るので、利用期間としては限られるのではないかな。そんな短期間の利用というところに対してどういうふうに考えてるのかといったところのご意見もいただいたり、あと、子供が自分で考えて遊べる場といった、ソフト中心の運営といったところが分かりづらいといったようなご質問もいただいております。

そのほかはですね、例えば区のほうで、夜市やマルシェみたいなのをこの広場で利用したいというときには利用できるのかといったようなご意見もいただいたりしておりましたし、最後に、やはりこどもまんなかといったところでですね、子供を大切にしながら、大人との関わりも持って、高齢者の方も含めて、みんなの集うような場所になってほしい、楽しみですといったようなご意見もいただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

5月20日の被災地区住民説明会、また議会に示していないものを使って説明しましたね。確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

資料としてはお配りはしませんでしたけれども、A Iで作成をいたしました広場のイメージ図ということでプロジェクターに反映をして、説明をさせていただきました。

ただ、その内容につきましては、3月の予算委員会で議会のほうにお示しした平面図、そちらに基づくものをA Iで処理したという形のものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

議会に示されていない図面、資料で、住民に説明した。参加住民は、その資料を見て、近隣との調整もできて、計画が進んでいると思ったのではないですか。市話を聞いて、境界は行き来ができて、将来の拡張も見込まれるものと思ったのではないですか。その責任はどうなりますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

私どものほうからは、境界が自由に行き来できるといったこととお話をしたつもりはございません。境界との柵といいますか、その仕切りについては今後、民地の方、所有者の方と協議をさせていただくということでご説明をさせていただいたというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

参加された女性からそのように聞いたものですから、今ご紹介をして、心配をして、質問をさせていただきました。

5月20日に大町区で見たコンテナとか、がらんどうの建物などのイメージ図は、6月11日の市民説明会では示されませんでした。これはなぜですか。市民に示せないような不都合でもありましたか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

5月20日の地元の説明会ということに関しましては、やはり地元の皆さんからは、この施設に対してのご理解を深めていただきたいという思いからお示しをさせていただきました。

ただ、お示しした中でもですね、その後、議会にも示していない資料をといったようなお声もいただきましたので、6月11日のときはお示しはしなかったものでございます。

ただ、今定例会で予定されております6月29日の総務文教常任委員会には、そちらのA I画像も含めた資料を提示させていただきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

飾り立てたコンテナ3種類、天井が高く、大きな木造建築、屋根付の長い廊下のイメージパースが、スライドで繰り返し繰り返し映し出されていました。その内容について、確認をさせていただきます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今ほど議員おっしゃられるとおりのイメージ図ということで、スライドで入れ替わるような形でお示をさせていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

内容について教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

内容については、あくまでイメージ図ということでお示ししているものでございますので、その内容が具体的にどうこうということではございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

そんなものを用いて説明会やっちゃ駄目じゃないですか。木造のがらんだりの建物の構造と、ここでの照明イベントは疑問です。建物内部に柱が建っていましたが、邪魔になりませんか。高いところの窓からさんさんと光が入っていましたが、そこで、お金をかけてまで照明イベントをやりますか。私は理解に苦しむのですが、なぜですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今ほど議員おっしゃられた部分につきましても、あくまでイメージということでお示しをさせていただいております。そういったイメージ、このような形で遊べる、遊び場ができるというようなことを容易にイメージしていただきやすいというところでお示しをしているものでございますので、その内容が固まったものというところではございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

まだそんな段階なのに、なぜ設計業務を委託したんですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

建物配置の、建物配置といいますか、施設の配置の大枠といたしましては、3月の予算委員会でお示しをした部分で、今市のほうでは想定させていただいております。この内容のところについては、現時点で今この図でというところで固まっておりますので、この内容を基に設計業務に入らせていただきたいというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

5月20日の説明会で、災害用トイレカーについて、なぜそれが必要かとの近隣住民の問いに、行政は、災害用トイレカーだからとだけ答えたように記憶します。そのやり取りを確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

ご質問といたしましては、災害用のトレーラートイレ、これは購入するのかといったようなご質問をいただいたかというふうに思っております。こちらについては、購入を検討するというところでお答えさせていただきまして、また、そのトイレが必要かどうかといったところも含めてご意見はいただいたかというふうには思っておりますけれども、トイレにつきましては、大火の伝承といったところや防災の意味でもよいと思うというほかの住民の方からのご意見もいただいたというふう

に理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

トイレカーは、バリアフリーでないとの意見、あるいはトイレカーの設置は困ります、納得できませんとの意見がありましたが、行政は答えていません。どうするおつもりですか。近隣住民からは、いつ納得していただくんですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

その際にいただいたご意見といたしましては、トイレの位置といったところで、ご心配のお声をいただいたかというふうに思っております。トイレを予定している、今予定しているところの近隣の方かというふうには思っておりますけれども、そういったところでご心配なご意見をいただきましたので、そこについては、今後また設計の中で検討させていただきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

半屋外のがらんどうの建物は、子供も使うということで、私が3月一般質問で提案しましたので前向きに考えますが、コンテナとかトイレカーは、子育てを継承する施設と市長が言ったことと何関係ありませんよね。コンテナとかトイレカーで、果たしてにぎわいが生まれますか。できませんね。これらは必要なものですか。私は要らない。質問の趣旨はそこです。市長からお答え願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

当然、そのような意見は、出てくるものであるというふうに私たちも思います。

ただ、今議員の思い、また議員がお聞きになった市民の思い、それらと、私たちがこれから計画しようという部分については、これから先のことを考えながら、いかに整備した広場において、先ほど「えんてらす」のコンセプト、またフレームワークがあったとおり、それに近づけるように努

力をしていきたいというのが私たちの思いです。

また、駅北という全体像を考えた上で、エリアリノベーションという考えを持って、施設の整備、建設という観点は、担当課で今しっかりやってもらっている。それを付随する全体像の、またいろんな仕掛けづくりについては、また違う担当課、また私の考え方を整理しながら進めていかなきゃいけない、同時並行して進めていかなきゃいけないと思っています。

そういう中であって、うちの組織、市役所という組織、行政という組織と市民の皆様と議会の方々と、どういうふうな形でいい方向に向けていくのかというのは、これから真摯に、やっぱり対話を通じてやっていかなきゃいけないと思っております。現時点では、そういう方向で進めていきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

「えんてらす」の話とエリアリノベーションの話をされると、私も本当にそうだなと思うものですから、なんですけども、さりとてですね、今のこの状況を納得することはできないということなんです。もう少し話が整理されてですね、基本計画というものに対していろんなところから検討していった結果出てきたものだという感じがしないんですよ。これは、私個人の感覚かもしれませんが。

では、通告書の7です。糸魚川市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針とコンテナは合致しません。予算特別委員会でも意見しましたが、木造のもののほうが合理的に空間を確保できますし、建物の寿命が長く、公共建築の構造にふさわしいです。コンテナは向いていません。計画を変更して、扱いにくく四角な鉄の箱のコンテナはやめるべきと考えますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど来も答弁させていただいておりますけれども、そういった形でコンテナに対する懸念のご意見いただいておりますので、コンテナについては再度検討させていただくという方向で今考えさせていただきます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

検討していただくけども、またコンテナになる可能性もあるなと私は感じてるので質問を続けたいと思うんですけども、もともと海上輸送のコンテナをここに持ち込むことは、素材としても形としても違和感があります。宿場町のDNA、町並みを生かしたいと市民に話した市長は、その違和

感がありませんか。歴史性を感じない四角な鉄の箱のコンテナはやめるべきです。町なかの誰もが来て、くつろぐ空間には、それにふさわしいデザインの木造の建物を造って、市民を迎え入れるべきです。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほどの答弁の繰り返しにはなってしまいますけれども、今ほど議員おっしゃるところもごもっともだと思っておりますので、もしコンテナを設置したとしても、木質化を図っていきたいというところでも答弁申し上げておりますし、そもそもコンテナ自体というところを取りやめて、そういった空間を木質化でつくっていくといったところも検討させていただきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

コンテナをご検討いただくための私からの1つのチェックリスト的なものとして、以下質問をさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

コンテナの計画が、建築基準法と法令等に合致したものか伺いたいと思います。これはですね、通告書を出したときに、何かあれば事前に聞いてくださいと申し上げましたが、担当がお答えくださるというふうに言われましたので質問したいと思っているんですけども、コンテナは、1か所の面積が10平米以上、なので個別に基礎を含めた構造の安定性・安全性ほか、確認が必要になってくるとはと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

コンテナに関しましては、国のほうからこれは建築物だということで、そういった違法な取扱いがないようにというような通知が出ているといったところは、承知をしております。

今、議員ご指摘の部分も踏まえて、今後、設計の業者、そちらも専門家でございますので、そういったところとしっかりと協議を詰めていきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

業者さんと協議を進めるではなくてですね、私は、基準法上、法令に合致したものかどうかを確認してから、要するに業務を進めてもらわないと、手戻りになるんじゃないかということで聞いているんですよ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

まずは、やはりそこにコンテナを設置するかどうかといったところが決まらなければ、そういったところの詳細の確認といったところも進んでいかないと思っておりますので、まずはそちらを明確にさせた上でですね、当然、建築基準法等の法令には合致するものを造っていかなければならないというふうに思っておりますので、もしコンテナという形になれば、そういったところはしっかりと確認をしながら進めてまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

まだそんな段階なのに、なぜ設計業務を委託したんですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

私どもの捉えといたしましては、コンテナといったところでの設置と、例えば木造での木質空間といったところで、その用途といったところの中では大きい差はそれほどないのではないかというふうにも捉えております。

先ほど来の答弁から申し上げておりますが、必ずしもコンテナにこだわったというところではございませんので、そういった空間をあそこの場所につくりたいというところで考えておりますので、その方向性だけは維持したままで、コンテナとしていくのか、また木材を使った空間としていくのか、そういったところについては設計の中で詰めさせていただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

コンテナと木造の建物、全然違いますよね。

建築基準法では、1つの敷地には1棟の建築物を計画する1敷地1建物の原則があります。同じ敷地内にコンテナのほかにも幾つもの建物が計画されていますが、これで確認申請は取れますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

ちょっと私のほうでは、そこまで詳細な部分については承知しておりませんので今お答えはできませんけれども、そういった部分について、議員ご指摘の部分については、しっかりと法的な基準はクリアするべきところは、しっかりクリアしながら進めていく必要があると思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

そうですね、クリアしないと工事やれないんだから。

一団地と見なされる認定には、敷地内の建物が用途上不可分であることが必要です。渡り廊下でつながっている場合も、玄関と廊下の関係とか、廊下も構造の制約を受けると思います。確認申請は、たしかその後の作業となり、手間がかかり時間もかかります。そもそもこの廊下は、敷地を分断して、広場の使い勝手を悪くしていますよね。計画自体を見直したほうがよくないですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

今の田原議員のご意見ですね、受け止めさせていただきます。

また今後、設計の中で、今ご指摘いただいた部分も含めながら、内容は詰めさせていただきたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

被災者住民の説明でもあったということですけども、要するにコンテナの可変性について、非常に便利だよという印象で話があったかと思いますが、コンテナにしておけば、後から位置をひよいひよいと変えて便利に使えんと思っていないか。

しかし、変更があれば、そのときにも確認申請が必要ですし、一団地とみなされる認定も必要と

なればですね、基礎工事がまた必要になるコンテナとは、何と不便なもの、取扱いが面倒くさいものかと私は思います。それでも皆さんは、コンテナにこだわりますかという話です。伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

以前のご質問でもお答えいたしました、コンテナを定期的に、当初ご提案した中でも定期的に移動するというような想定はしておりません。使っていく中で、将来的に移動の必要性が生じた場合には、そういった移動も比較的簡単にできるのではないかといたした想定をしていたというところでございますし、また、今いただいたご意見をお聞きしながら、先ほど来申し上げておりますように、コンテナに必ずしもこだわっているというところではございませんので、木造でのそういった部分の建築設備といったところも考えていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

何か私がコンテナにこだわってやってくださいと言ってるみたいに聞こえるかもしれませんが、逆ですから、お願いします。

コンテナの価格と流通と施工について伺い、構造と開口部の工事について伺います。

市で考えているコンテナの使用については、1か所当たりく幾らというふうに予算の中では説明がありましたか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

こちらの3月の予算委員会での資料でお示しをさせていただいておりますが、コンテナスペースというところで6,200万円を見ております。こちら3棟というところで想定しておりますので、1棟当たりにしますと約2,000万円ほどというような形になろうかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

ネットで検索して、コンテナの価格を直接聞きました。新潟から糸魚川まで海上輸送用20フィート、6メートルの長さのコンテナを運んで設置すると1か所当たり50万円だそうです。シャッ

ターや窓などは、オプションが別料金がかかりますが、市の説明したものとどうしてこんなに差があるのでしょうか。騙されているのではとすら思えてきますが、これどういうことなのでしょう、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今先ほど私が申し上げました金額の算出につきましても、専門の事業者さんから算出をさせていただいております。概算の費用ということでありますので、多めには見られているのではないかと思います。今議員おっしゃられた金額との乖離について、どういう理由かというところについては、ちょっとお答えはできません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

コンテナが悪いわけではありません。ただ、市民から疑われる予算の支出にならないかと心配をしています。

過去には、根知の診療所建て替えの予算審査、えちご押上ひすい海岸駅のトイレ1,940万円、キターレの着工前の突然の設計変更による1億円を減額したことなどを思い出しています。そもそもコンテナにする必要がありませんし、コンテナを使いたいのために、仕上げに板を貼るとか何か工作して、後で問題が出ることを考えれば、オーソドックスに木造の建築を設計をすべきだと思います。地場の木で、地元の企業が参画し、地元の大工さんの仕事でやるべきですね。私はそう思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

地元の木材利用といったところについては、積極的に努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

通告書（6）被災者住民の要望・意見の反映について伺います。

小人数でも意見交換の場をつくってほしい、話を聞いてほしいという被災者の声があります。さらなる対話と意見の反映を求めています。大人数の住民説明会では本音が話せないとの声もあります。ひょっとしたらコンテナ賛成、コンビニ要らないという方もおられるかもしれません。

いずれにせよ、これまで被災者住民の要望・意見をちゃんと聞いてこなかった結果が現状です。議会にもその責任はあると思いますが、市長が替わったわけですから、行政は市民と対話して、縮充の中での納得解を出していかなければなりません。市長、ぜひそのようにしてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まずもってごもっともな意見だと思って聞いております。

先般、5月と6月に大町区中心の説明会の終了後には、一住民の方にこれからこういう話合いが、やっぱり追加が必要ですねといったところ、そうだねというふうに言っていただきました。それを基に、私自身、時間のある限り努めていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

市長、その声を覚えていていただいて、今ここでその話をしてくださいました。ありがとうございます。

広場の設計には着手していますが、被災者住民の要望・意見は反映できますか。

しかし、反映しなければならないと思います。基本計画、まだまとまってないんですね。コンテナの必要性とか市民と議論したり、いろんな話をしていく、基本計画をまとめていく、そのリミットはいつになりますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

この事業につきましては、先ほど申し上げましたとおり複合施設から汎用性のある広場というような形で大幅な計画の変更を踏まえる中で、今事業進んでおります。

そうした中では、令和11年の3月末までを事業期間として定めておりまして、非常にタイトな期間でございます。今年度中には設計をまとめて、来年度、できれば施設整備のほうに入っていきたいというふうに考えておりますので、今、議員のほうからは、いつまでというようなところでお話ございましたけれども、私どものほうといたしましては、今、設計業務、今後進めていきますが、そういった中で、議会のほうにもしっかりとご説明をし、また、市民のほうとも説明の場を設けな

がら進めさせていただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

リミットはいつかと、私、伺いました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

基本計画というところに関しましては、先ほど申し上げましたように、昨年度の予算の中で大枠のところの金額を4億5,000万ということで議会のほうにお示しをさせていただきました。今年度は実施設計というような形、大枠は実施設計というような形で取りかかっていますが、今、これから市民意見等も聞く中で、基本設計を進め、先ほどお話ししたとおり、9月に議会にお示した以降に詳細な設計に入っていきたいとは思っておりますので、それぐらいまでがリミットとなるかと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

あくまで行政の都合だけで進めていくということはとても残念ですね。

最後に、1つ提案をします。

敷地の近くにコンテナをリースで置いて、利用者を募り、実際に運営していただくのはいかがでしょうか。前面にシャッター付6メートルのコンテナ1台のリース代は、6か月で約60万円です。それで10年先のコンテナ利用のイベントで、にぎわう見通しがつけば、私も反対してはいられないということになりますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども家庭課長。〔こども家庭課長 室橋淳次君登壇〕

○こども家庭課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今、議員のご提案が、いつの時点でそういった部分の、何ていうんですかね、試行といったところちょっと理解できませんでしたが、今解体工事のほう進めております。来年度、できれば施設整備というところに入っていきたいというところになっておりますので、なかなかそういった部分の試行的なことを実施する期間というのが確保は難しいのではないかというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

田原 実議員。

○15番（田原 実君）

（４）で様々伺う予定でしたが、先ほど申し上げたとおり、エリアリノベーションについて教育委員会の担当課が答える筋じ合いのものではないので、質問はこれにとどめます。９月議会、コンテナ要らない、コンビニ欲しいのパート２で伺ってまいります。よろしくお願いいたします。

以上で質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

田原議員の一般質問が終了いたしました。

これをもちまして、一般質問を終結いたします。

日程第３．糸魚川市議会政治倫理審査委員会の設置について

○議長（古畑浩一君）

続きまして、日程第３、糸魚川市議会政治倫理審査会委員会の設置についてを議題といたします。

本件につきましては、６月１９日の議会運営委員会の委員長報告のとおり、糸魚川市議会倫理規則第４条の規定に基づく手続を経て、近藤新二議員を対象とした審査の請求がありました。

議長として、同規則第５条第１項の規定により審査請求に関する事項を審査するために、糸魚川市議会政治倫理審査委員会を設置し、その審査を付託いたします。

それでは、委員会の委員につきましては、同規則第５条第２項の規定によりまして議長が任命いたします。

委員には、田中 立一議員、田原 洋子議員、宮島 宏議員、東野 恭行議員、阿部 裕和議員、中村 実議員、保坂 悟議員、以上、７名を任命いたします。

正副委員長互選のため、暫時休憩いたします。

〈午後３時５０分 休憩〉

〈午後４時００分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

ただいま、糸魚川市議会政治倫理審査委員会が開かれ、正副委員長の互選を行いましたので、その結果につきまして、ご報告申し上げます。

委員長には、東野 恭行議員、副委員長に、田原 洋子議員、以上であります。

以上で本日の全日程が終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。